

和歌山県の働く女性の現状



1. 就業状態、有業率

○和歌山県の女性の有業者（※1）は20万7千人、また有業率は44.8%となっており、全国（48.2%）より低い（図1）。

○女性の年齢階級別の有業率はいわゆるM字カーブを描いているが、ほとんどの年齢階級で全国より低い（図3）。

○有業者に就業希望者を加えた潜在的有業率（※2）は、ほぼ台形となる（図4）。

（※1）有業者とはふだん収入を得ることを目的として仕事をしている者をいう。

（※2）潜在的有業率 = (有業者 + 無業者のうち仕事をしたいと思っている者) / 15歳以上人口 × 100

図1 女性の就業状態(平成24年和歌山県)

図2 生産年齢人口(15~64歳)の有業率の推移

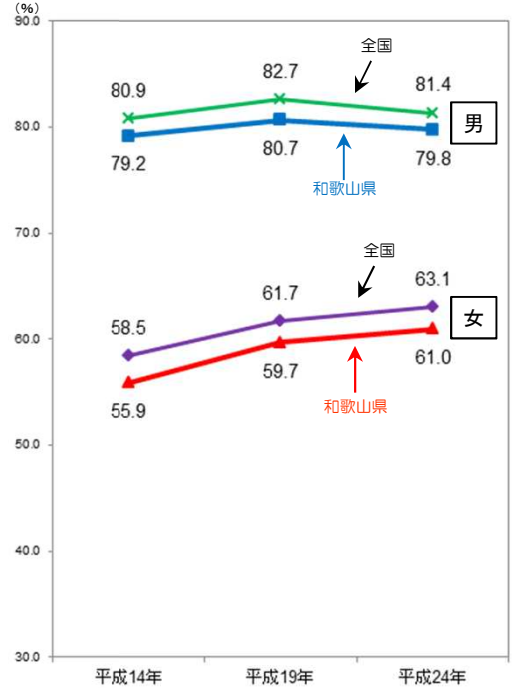
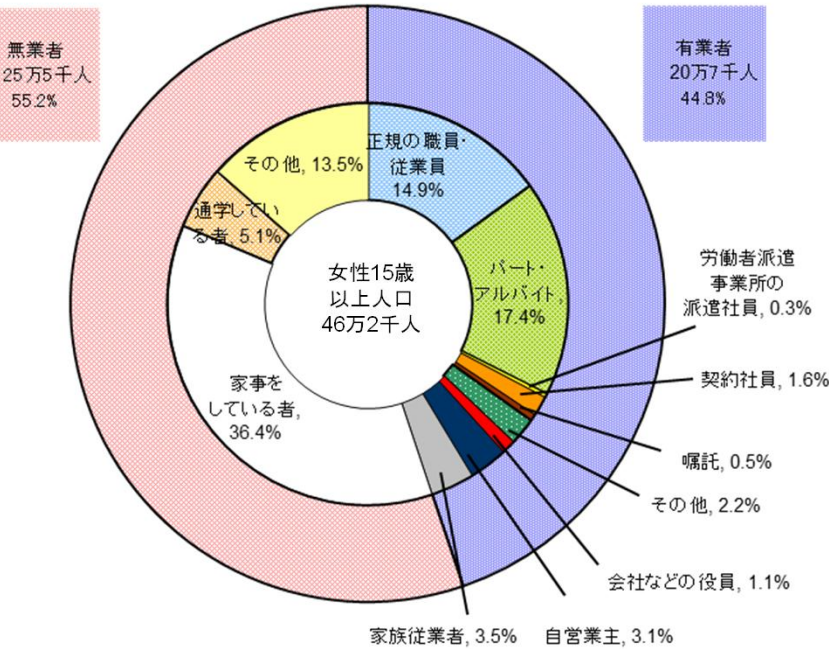
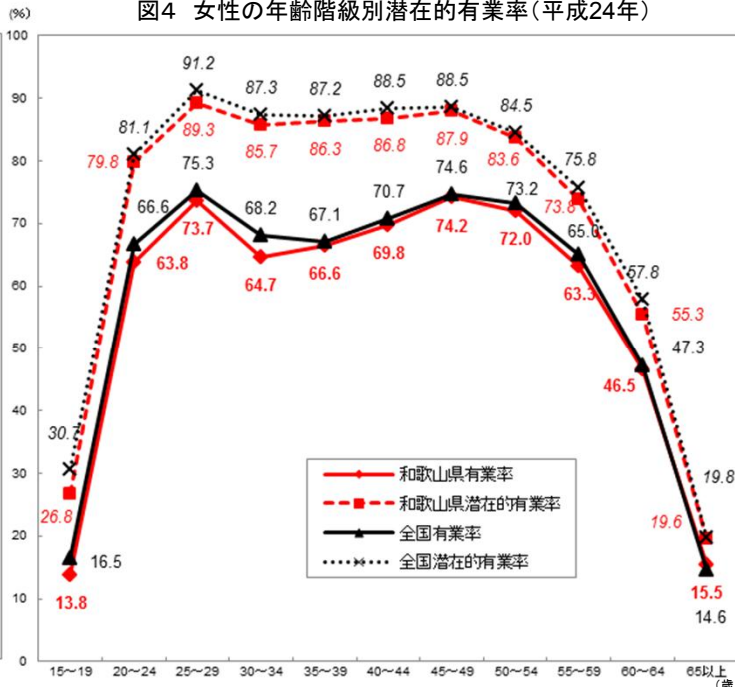
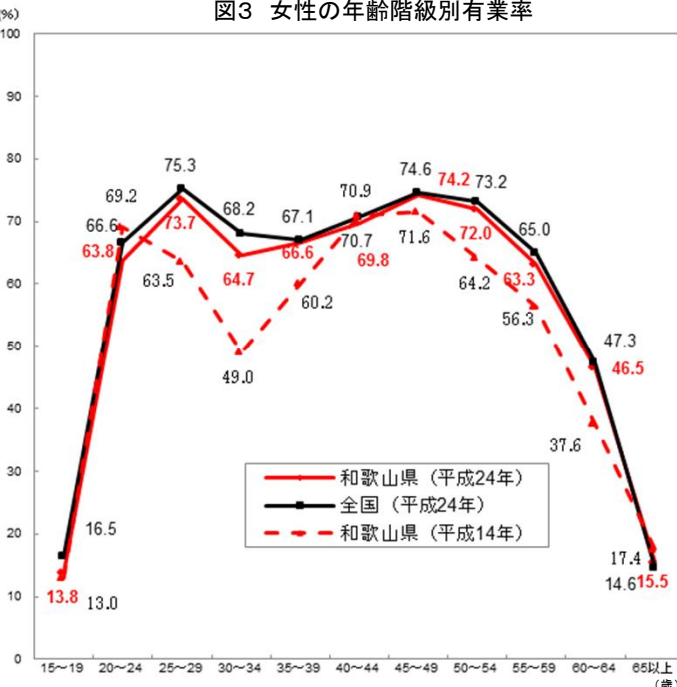


図3 女性の年齢階級別有業率

図4 女性の年齢階級別潜在的有業率(平成24年)



2.雇用者の状況

○和歌山県の女性雇用者は17万700人で、雇用者総数（男女計）の47.5%を占めており、全国（45.3%）より高い。女性雇用者のうちパート・アルバイトは8万200人で、47.0%を占めている（図5、6）。

○女性雇用者を産業分類別にみると、医療、福祉が26.5%と最も多く、次いで卸売業、小売業（17.6%）、製造業（10.3%）となっている（図7）。

○女性雇用者を職業分類別にみると、事務従事者が24.8%と最も多く、次いでサービス職業従事者（21.7%）、専門的・技術的職業従事者（18.7%）となっている。管理的職業従事者（※1）は女性雇用者の0.1%、管理的職業従事者に占める女性割合は5.0%となっている（図8、9）。

○和歌山県の一般労働者（※2）の平均勤続年数は女性9.4年、男性14.1年、平均年齢は女性39.6歳、男性43.5歳となっている（図10、11）。

○一般労働者の男女間の賃金格差（男性＝100とした場合の女性の所定内給与額）は71.3となっている（図12）。

（※1）管理的職業従事者とは、経営全般又は課以上の内部組織の経営・管理に従事する者をいう。

（※2）一般労働者とは、常用労働者のうち、短時間労働者以外の者をいう。役員は含まれない。

図5 雇用者（役員を除く）の推移

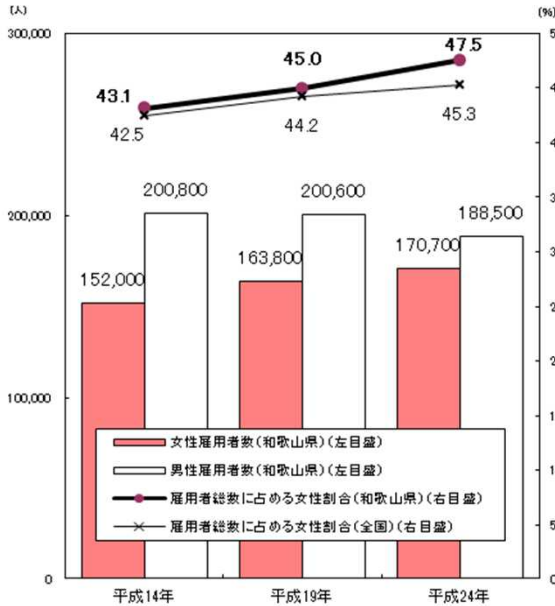


図6 パート・アルバイトの推移

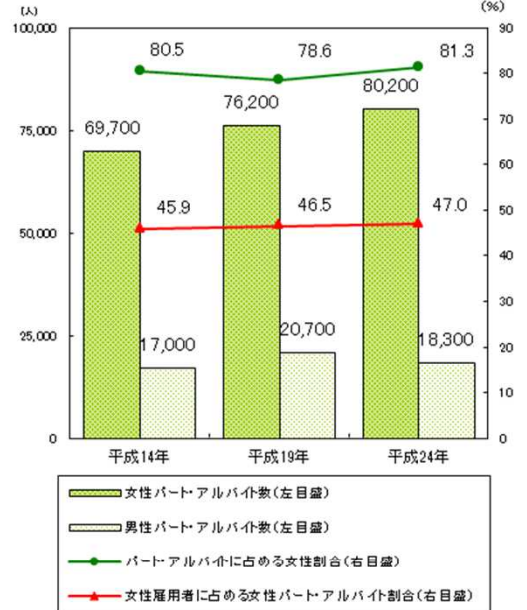
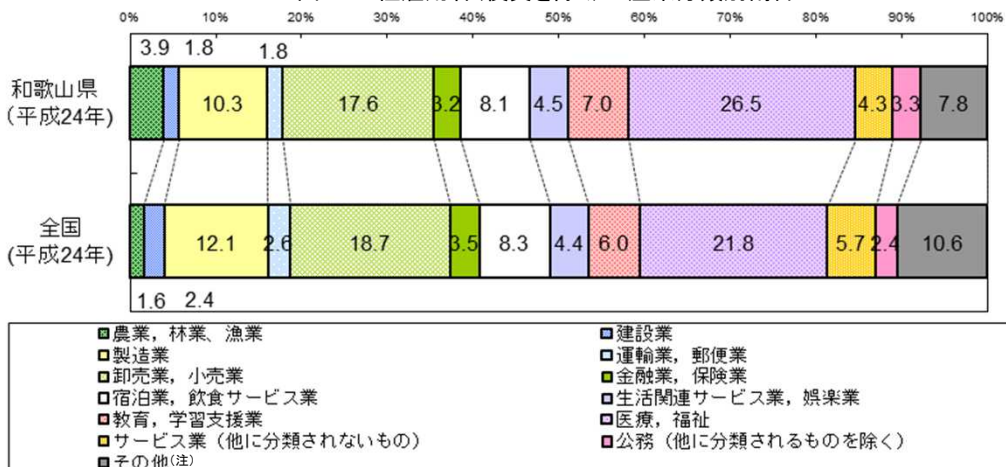
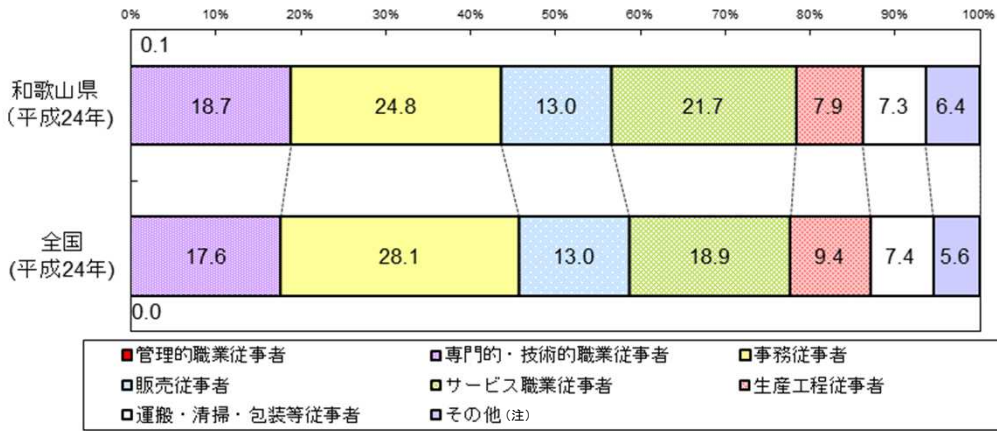


図7 女性雇用者（役員を除く）の産業分類別割合



(注)「その他」は「鉱業、採石業、砂利採取業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「不動産業、物品賃貸業」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「複合サービス事業」、「分類不能の産業」とした。

図8 女性雇用者(役員を除く)の職業分類別割合



(注)「その他」は「保安職業従事者」、「農林漁業従事者」、「輸送・機械運転従事者」、「建設・探掘従事者」、「分類不能の職業」とした。

図9 管理的職業従事者に占める女性雇用者(役員を除く)割合

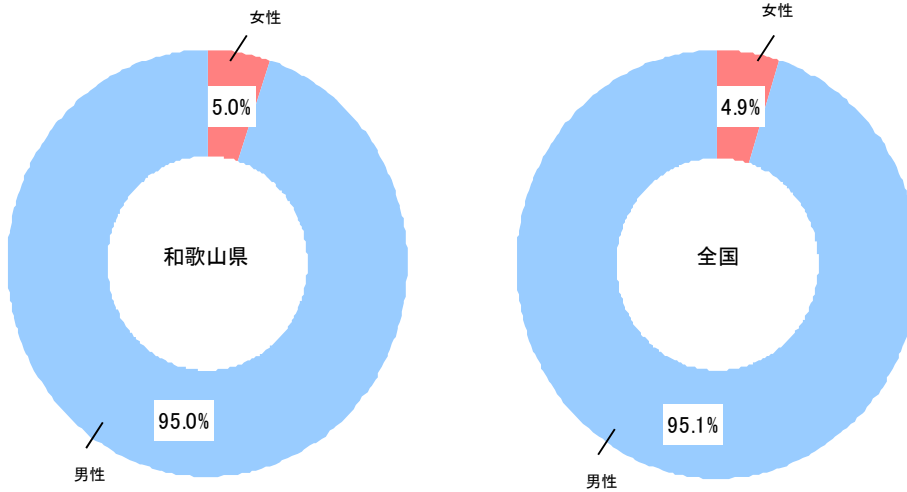


図10 一般労働者の平均勤続年数の推移

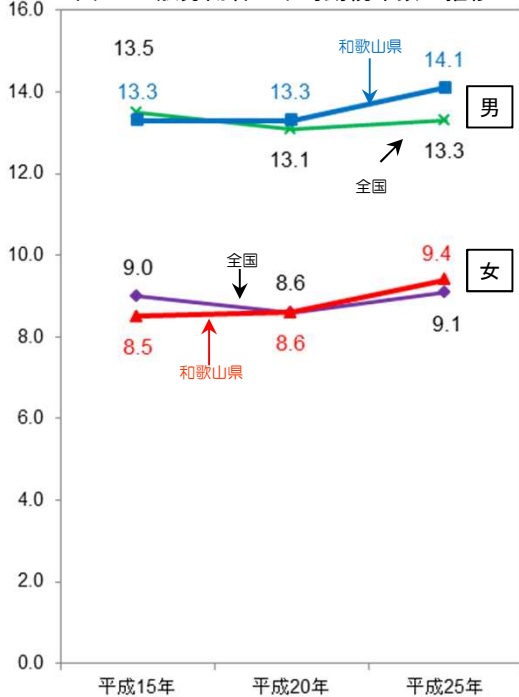


図11 一般労働者の平均年齢の推移

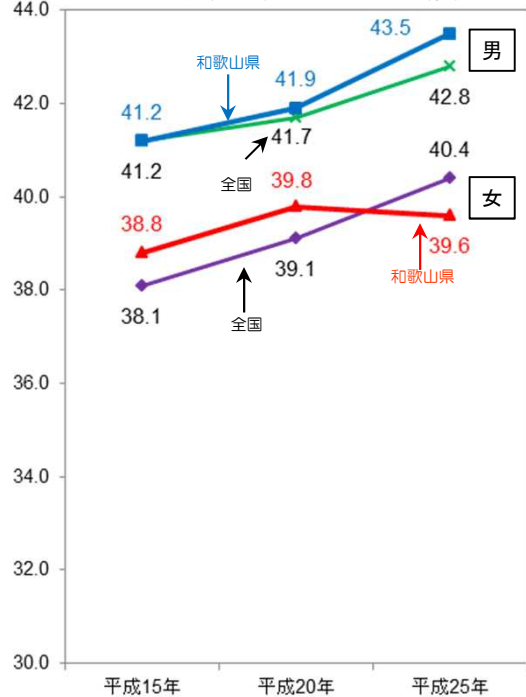
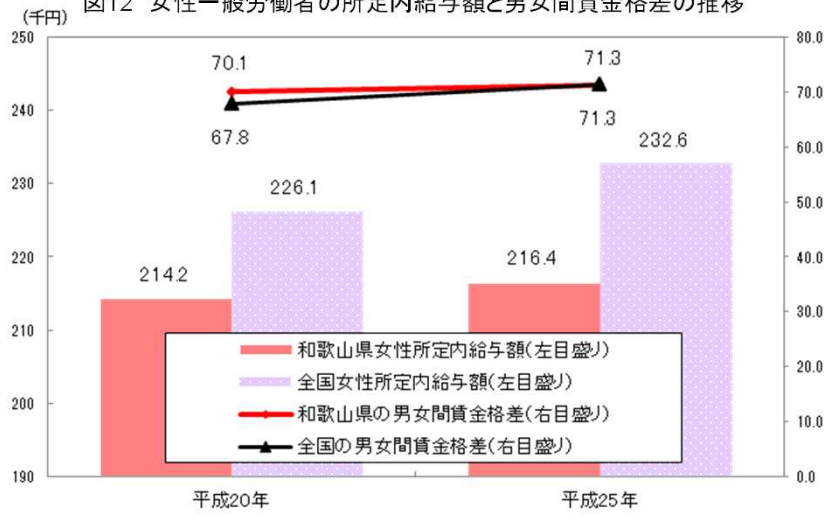


図12 女性一般労働者の所定内給与額と男女間賃金格差の推移



3. 少子・高齢化の状況

○和歌山県の人口は減少傾向にあり、2010年は100万2,198人となっているが、2040年には、人口が71万9,427人、高齢化率は39.9%になると推定されている(図13)。
 ○2013年の和歌山県の合計特殊出生率は1.52で、全国の1.43より高くなっている(図14)。

図13 和歌山県の人口の推移

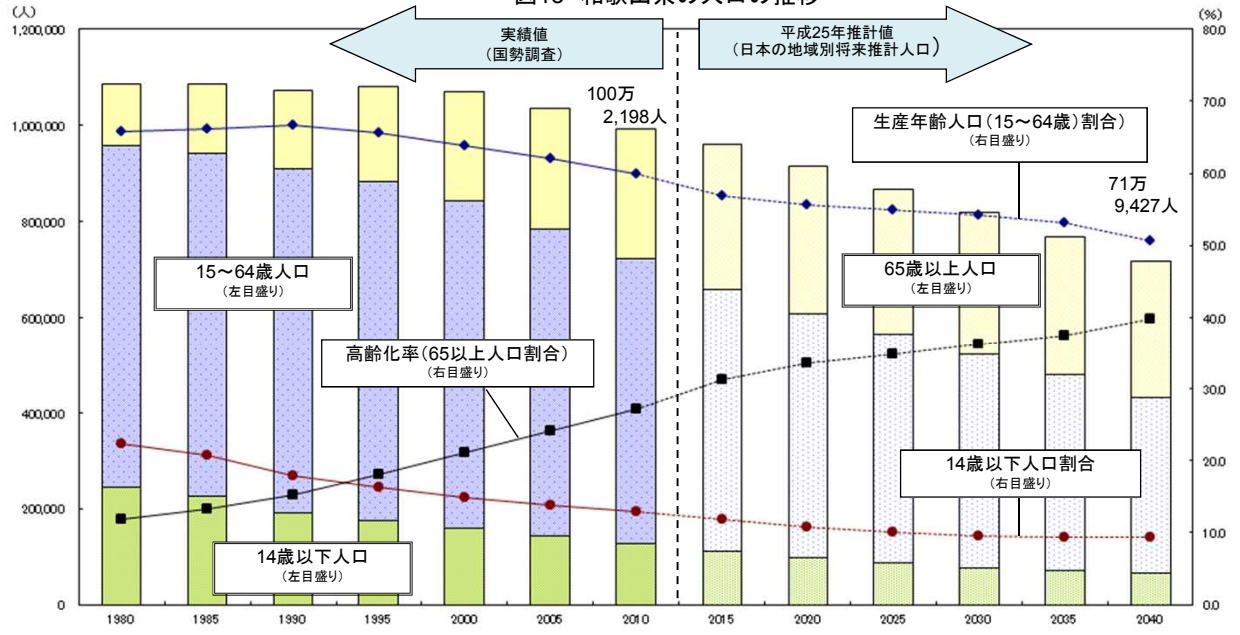
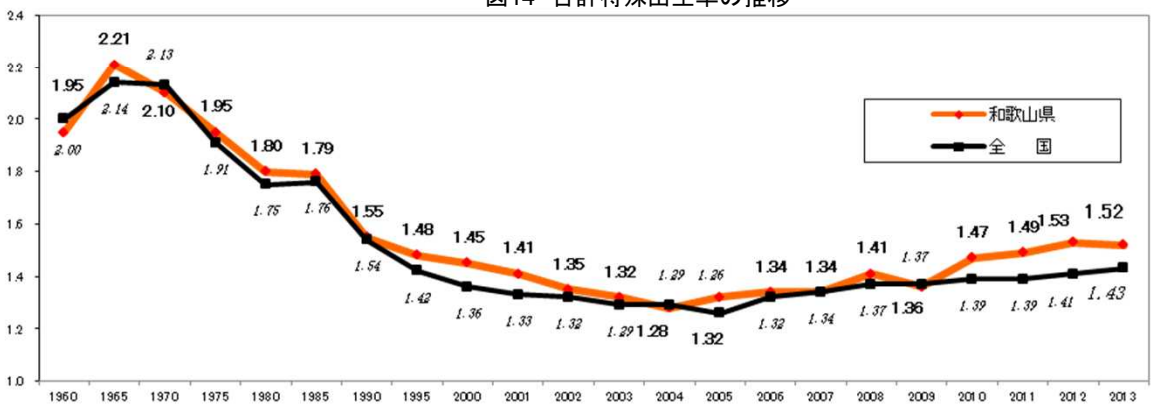


図14 合計特殊出生率の推移



資料出所: 図12: 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」
 図13: 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」
 図14: 厚生労働省「人口動態調査」(注)2012年以前は確定数、2013年は概数